

総合医学 シラバス

2023 年度

6 学年

藤田医科大学 医学部

総合医学 授業形態 及び 授業予定表

前期： 6月～ 7月

後期： 9月～10月

2023 年度 総合医学前期（6月6日～7月26日）授業形態

全学生共通（1講義1コマ）	
<p>総合医学の出席確認 (1講義1コマ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内講義 対面講義(大学2号館11階1101講義室)にて実施。 出席確認は 学務課担当者が授業開始時に講義室で確認する。 <u>出席+評価入力をもって当該授業の「受講」を認める。</u> オフィスアワーはシラバス記載参照のこと。 ・ 学外講義（予備校講師による講義） 対面講義(大学2号館11階1101講義室)にて実施。 出席確認は 学務課担当者が授業開始時に講義室で確認する。 <u>出席+評価入力をもって当該授業の「受講」を認める。</u> 講義に関する質問及びオフィスアワーは当日の講義後に限る。 ・ 前期日程の学内講義、学外講義、それぞれ2/3以上の「受講」が認定されない場合、 第1回卒業試験の受験資格を喪失する。
<p>< 試験 > 7月「TECOM 第1回 模擬試験」</p>	<p>必須受験</p>

※準備学習(予習・復習等)：各自、予習と復習をしておくこと。予習・復習に各30分程度を目安とする。

※模擬試験を欠席する場合には、必ず事前に教務委員長に相談すること。

※6月6日～7月26日の所定コマ数の2/3以上を受講し、7月に実施される模擬試験を受験したものでなければ、第1回卒業試験の受験資格を認めない。

2023 年度 総合医学(6月～7月) 授業予定表

[授業時間帯]

I 8:40 ～ 9:50
 II 10:00 ～ 11:10
 III 11:20 ～ 12:30
 IV 13:20 ～ 14:30
 V 14:40 ～ 15:50
 VI 16:00 ～ 17:10
 VII 17:20 ～ 18:30

[6 学 年]

曜日	月						火						水						木						金						土					
	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II				
授業科目	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学				
日	5						6						7						8						9						10					
6月	ガイダンス						STH						STH						※1産婦人科対策講座 ：テコム笹森先生 (5コマ)						STH											
	富田 (血液)	STH	入山 (血液)	中江 (脳外)	STH		稲熊 (腎内)	STH	長谷川 (腎内)	STH			STH						渡辺 (脳内)	STH		中原 (脳卒)	STH		STH				村松 (循内)	石川 (循内)	STH	17	STH			
	赤松 (膠原)	橋本 (膠原)	植田 (脳内)	岡本 (血液)	西野 (膠原)	STH	近藤 (小兒)	近藤 (小兒)	宮田 (小兒)	齋藤 (小兒)	伊藤 (小兒)	STH	STH						※1診察・手技・電解質・塩酸基平衡講義 ：メディックメディア清澤先生 (5コマ)						STH	※1小児科対策講義 ：メディックメディア清澤先生 (5コマ)				STH	24	STH				
	※1 内科解説講座 ：メック Dr.孝志郎 (5コマ)					STH	※1 内科解説講座 ：メック Dr.孝志郎 (5コマ)					STH	※1 内科解説講座 ：メック Dr.孝志郎 (5コマ)					STH	橋本 (肝胆脾)	橋本 (肝胆脾)	STH	長坂 (消内)	升森 (消内)	STH	30	STH	柴田 (消内)	STH				1	STH			
7月	TECOM 第1回 模擬試験						TECOM 第1回 模擬試験						橋本 (呼内)	橋本 (呼内)	今泉 (呼内)	今泉 (呼内)	稲葉 (消内)	STH	高柳 (内内)	鈴木 (内内)	STH	伊藤 (脳内)	伊藤 (脳内)	STH	STH						8	STH				
	STH	※1 公衆衛生 ：テコム 齋藤先生 (5コマ)					11	STH	※1 公衆衛生 ：テコム 齋藤先生 (5コマ)					12	太田 (公衛)	太田 (公衛)	松永 (公衛)	太田 (公衛)	STH		13	山田 (衛生)	川戸 (衛生)	大神 (衛生)	STH			14	土井 (感染症)	土井 (感染症)	土井 (感染症)	STH			15	STH
	海の日						STH						STH						※2 個別指導/STH						※2 個別指導/STH						22	STH				
	※1 マイナー対策講座 ：メック Dr.一茶 (7コマ)						※1 マイナー対策講座 ：メック Dr.一茶 (7コマ)						※1 マイナー対策講座 ：メック Dr.一茶 (7コマ)						※2 個別指導/STH						※2 個別指導/STH						29	STH				

2023.5.26現在

※1 予備校講師による講義

※2 対象者のみ(合計40名、1人30分)

最新の時間割はこちらから確認してください。
 7限目は表示されませんが7/24(月)～26(水)は
 ⇒ 7限目まで授業があります。



2023 年度 総合医学後期（9月4日～10月5日）授業形態

全学生共通（1講義1コマ）	
総合医学の出席確認 (1講義1コマ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内講義 対面講義(大学2号館11階1101講義室)にて実施。 出席確認は 学務課担当者が授業開始時に講義室で確認する。 <u>出席+評価入力をもって当該授業の「受講」を認める。</u> オフィスアワーはシラバス記載参照のこと。 ・ 学外講義（予備校講師による講義） 対面講義(大学2号館11階1101講義室)にて実施。 出席確認は 学務課担当者が授業開始時に講義室で確認する。 <u>出席+評価入力をもって当該授業の「受講」を認める。</u> 講義に関する質問及びオフィスアワーは当日の講義後に限る。 ・ 後期日程の学内講義、学外講義、それぞれ2/3以上の「受講」が認定されない場合、 第2回卒業試験の受験資格を喪失する。
自学自習	<p>9:30に学務課担当者が大学2号館11階1101講義室にて1日1回出席確認を行う。 1日1コマとし、2/3以上の出席が認定されない場合、第2回卒業試験の受験資格を喪失する。</p>
<p>< 試験 > 9月「TECOM 第2回 模擬試験」</p>	必須受験

※準備学習(予習・復習等)：各自、予習と復習をしておくこと。予習・復習に各30分程度を目安とする。

※模擬試験を欠席する場合には、必ず事前に教務委員長に相談すること。

※9月4日～10月5日の所定コマ数の2/3以上を受講し、9月に実施される模擬試験を受験したものでなければ、第2回 卒業試験の受験資格を認めない。

2023 年度 総合医学(9月～10月) 授業予定表

[授業時間帯] I 8:40 ~ 9:50
 II 10:00 ~ 11:10
 III 11:20 ~ 12:30
 IV 13:20 ~ 14:30
 V 14:40 ~ 15:50
 VI 16:00 ~ 17:10

[6 学 年]

曜日	月						火						水						木						金						土					
	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	I	II				
授業科目	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学	総合医学				
9月	※1 総論対策講座 :メック Dr.渡 (5コマ) STH						※1 総論対策講座 :メック Dr.渡 (5コマ) STH						※1 総論対策講座 :メック Dr.渡 (5コマ) STH						STH 芳野 (老年) 芳野 (老年) STH						自学自習						STH					
11	STH	浅井 (病理)	浅井 (病理)	浅井 (病理)	浅井 (病理)	STH	STH	花岡 (放医)	大野 (放医)	村山 (先端画像)	植田 (放医)	STH	TECOM 第2回 模擬試験						TECOM 第2回 模擬試験						自学自習						STH					
18	敬老の日						自学自習						自学自習						自学自習						自学自習						秋分の日					
25	※1 必修対策講座 :メック Dr.孝志郎 (5コマ) STH						※1 必修対策講座 :メック Dr.孝志郎 (5コマ) STH						民谷 (救急)	民谷 (救急)	民谷 (救急)	STH			自学自習						自学自習						STH					
10月	※2 個別指導/自学自習						※2 個別指導/自学自習						※2 個別指導/自学自習						※1 症候学講義 :メディックメディア Dr.清澤 (5コマ) STH						自学自習						STH					
9	スポーツの日						開学記念日						自学自習						自学自習						STH						PCC OSCE (翌日もあり)					
16	自学自習						自学自習						自学自習						自学自習						自学自習						STH					
23	自学自習						自学自習						自学自習						自学自習						自学自習						STH					

2023.5.26現在

※1 予備校講師による講義

※2 対象者のみ(合計30名、1人30分)

* 自学自習:合計24日

最新の時間割はこちらから確認してください。 →



【10月30日(月)以降の予定 ※予定は変更となる場合があります。】

- *11月 4日(土) Post CC OSCE (再試験)
- *11月13日(月)～11月14日(火) 第2回 卒業試験
- *11月21日(火)～11月22日(水) MEC 冬の模擬試験 ※卒業要件
- *11月29日(水) TECOM 直前産婦 笹森先生 5 コマ 生講義
※卒業保留者^{※3}のみ卒業要件^{※5}
- *11月30日(木) メディックメディア 公衆衛生 盛永先生 6 コマ 生講義
※卒業保留者^{※3}のみ卒業要件^{※5}
- *12月 8日(金) 卒業判定結果発表 (予定)
- *12月11日(月)～12月12日(火) TECOM 臨床科目国試対策講座 瘧師先生 各 5コマ 生講義
※卒業保留者^{※3}のみ卒業要件
- *12月13日(水)～12月15日(金) 個別指導(合計 30名、1人 30分)
※卒業保留者^{※3}のみ卒業要件
- * 1月 4日(木) 卒業保留者再試験
- * 1月 9日(火)～1月10日(水) 第4回 TECOM 模擬試験 ※卒業要件
- * 1月12日(金) 卒業保留者判定結果発表 (予定)
- * 1月22日(月)～1月24日(水) 個別指導(合計 30名、1人 30分)
※卒業保留者^{※3}のみ卒業要件
- * 1月30日(火)～2月 1日(木) 国家試験受験票配付 (仮) ^{※4}
- * 2月 3日(土)～2月 4日(日) 第118回 医師国家試験 (仮)
- * 2月 5日(月) 卒業式の案内、各種アンケート^{※1}、国試解答入力作業 ※卒業要件
- * 2月13日(火) 勉強部屋の返却期限 (仮)
- * 3月10日(日) 卒業式

※1：アンケートはその場で回答いただき、回答確認後に解散となります。

※2：国家試験の日程発表に伴い、前後の予定が変更になる可能性があります。

※3：卒業認定者のうち、卒業試験総合成績で基準に満たなかった学生を含みます。

※4：1月30日(火)より前にはお渡しできません。研修先に受験番号を伝える必要がある場合は、(受験票が届き準備ができた後に)学務課でお見せします。

※5：卒業判定結果発表前の日程です。マークミスを含め、少しでも卒業保留となる不安がある学生は、出席してください。欠席者が卒業保留になると、その時点で留年が決まります。

※6：卒業要件となっている講義について、対象者は全コマ出席必須です。
全コマの3分の1、欠席できるわけではありませんので注意してください。

2023年度 医学部医学科

第6学年 SYLLABUS

学業科目：

総合医学

必選：必須 単位数：4 開講：全期

[教育目標]

医師国家試験を受験するために必要な各科疾患に関する重要な病態と治療を理解する。
なお、主として本大学病院において医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

[授業の方法]

講義形式

事前に課題を与え、講義の中で適宜指名を実施し、理解の確認を行う。

[学修目標]

主要科の重要な知識を確認する。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する診療科及び客員教員と連携し、相互補完的な教育内容としている。

垂直統合：医師国家試験の過去の出題問題(症例問題)を提示し、病態生理から治療まで一連の流れを理解するのに必要な知識を学ぶようになっている。

[身につける能力]

臨床医学の総合的知識

[授業の種類]

疾患における病態生理から治療まで、垂直的に統合された内容を講義する。

【準備学習（予習・復習等）】

事前に医師国家試験過去問題(課題)を与え、学習テーマに関し、国試レベルの教材を予習する。
予習・復習に各30分程度。

【 評 価 】

卒業試験において、講義内容から出題し、知識及び理解度を判定する。
卒業コンピテンシー I～VII全般

【フィードバック】

評価について疑義のある場合は対応する。
総合医学の内容を含む卒業試験について、試験後に解答および解説を配付する。
また、疑義の申請について妥当かを審議し、学生にフィードバックをする。

【教科書】

指定しない。

【推薦参考書】

指定しないが、イヤernote、クエスチョンバンク、ネット講座など国試対策教材。

【使用する教室】

大学2号館11階1101講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・病理学>

担当者名	曜日	時間	場所
浅井 直也 教授	火曜、金曜	16:00～17:00	大学1号館 5階 514号室

<医学部・微生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

土井 洋平 教授	水曜、金曜	15:00~17:00	大学1号館 8階 809
----------	-------	-------------	--------------

<医学部・衛生学>

担当者名	曜日	時間	場所
川戸 美由 講師 紀	月曜、水曜	16:30~18:00	大学1号館 5階 509
山田 宏哉 講師	月曜、水曜	16:30~18:00	大学1号館 5階 510

<医学部・公衆衛生学>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 充彦 教授	月曜~水曜	16:00~18:00	大学1号館 7階 703
松永 眞章 講師	月・水・金曜	16:00~18:00	大学1号館 7階 703

<医学部・循環器内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
村松 崇 准教授	火曜、木曜	9:00~17:00	ハイブリッド手術室
石川 正人 講師	不定の為、医局秘書に連絡しアポイントをとる。	9:00~17:00 (循環器内科学医局 内線2312に連絡)	スタッフ館 I 5階 循環器内科学医局

<医学部・呼吸器内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
今泉 和良 教授	火曜、金曜	15:00~18:00	スタッフ館 I 7階 呼吸器内科学医局
橋本 直純 教授	月曜、水曜	15:00~18:00	スタッフ館 I 7階 呼吸器内科学医局

<医学部・消化器内科学・第1>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

柴田 知行 教授	火曜	14:40~15:50 16:00~17:10	スタッフ館 I 3階 消化器内科学医局
川部 直人 准教授	水曜	17:00~18:00	スタッフ館 I 3階 消化器内科学医局
長坂 光夫 講師	金曜	9:00~16:00	スタッフ館 I 3階 消化器内科学医局

<医学部・消化器内科学・第2>

担当者名	曜日	時間	場所
橋本 千樹 教授	月曜	13:00~15:00	第2教育病院 4階 消化器内科学医局

<医学部・血液内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
富田 章裕 教授	月曜、火曜	16:00~19:00	スタッフ館 I 9階 血液内科学医局
入山 智沙子 准教授	月曜、火曜	16:00~19:00	スタッフ館 I 9階 血液内科学医局

<第4・内科>

担当者名	曜日	時間	場所
岡本 昌隆 教授	講義日	講義終了後	

<医学部・内分泌・代謝・糖尿病内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
鈴木 敦詞 教授	金曜	17:00~18:00	スタッフ館 II 4階 内分泌・代謝・糖尿病内科学医局
高柳 武志 准教授	月曜	17:00~18:00	スタッフ館 II 4階 内分泌・代謝・糖尿病内科学医局

<医学部・リウマチ・膠原病内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
西野 讓 講師	木曜	16:00~17:00	スタッフ館 II 11階 リウマチ・膠原病内科学医局

橋本 貴子 講師	水曜	14:00~15:00	大学1号館 3階 314 (リウマチ・膠原病内科研究室) 内
赤松 このみ 助教	月曜	9:30~10:30	スタッフ館Ⅱ 11階 リウマチ・膠原病内科学 医局

<医学部・腎臓内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
長谷川 みどり 教授	金曜	16:00~18:00	スタッフ館Ⅱ 9階 腎臓内科学 医局 ※要事前連絡 (0562-93-9245)

<医学部・内科学・第2>

担当者名	曜日	時間	場所
稲熊 大城 教授	月・火・木・金曜	13:00~17:00	ばんたね病院 内科学 (052-323-5678) へ連絡して確認

<医学部・脳神経内科学>

担当者名	曜日	時間	場所
渡辺 宏久 教授	水曜	12:00~13:00	スタッフ館Ⅰ 6階 脳神経内科学 医局

<医学部・内科学・第4>

担当者名	曜日	時間	場所
伊藤 信二 教授	木曜	16:00~17:00	スタッフ館Ⅰ 6階 脳神経内科学 医局
植田 晃広 准教授	月曜	12:00~13:00	スタッフ館Ⅰ 6階 脳神経内科学 医局

<医学部・認知症・高齢診療科>

担当者名	曜日	時間	場所
芳野 弘 准教授	水曜、金曜	13:00~15:00に認知症・高齢診療科医局へ訪室してアポを取る	スタッフ館Ⅰ 9階 認知症・高齢診療科 医局

<医学部・小児科学>

担当者名	曜日	時間	場所
伊藤 哲哉 教授	月曜～金曜	9:00～17:00	C棟11階 小児科学医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）
宮田 昌史 教授	月曜～金曜	9:00～17:00	C棟11階 小児科学医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）
齋藤 和由 講師	月曜～金曜	9:00～16:30	C棟11階 小児科学医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）

<医学部・小児科>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 康人 教授	月曜～金曜	9:00～17:00	第2教育病院 小児科医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）

<医学部・放射線医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大野 良治 教授	月曜	16:00～17:10	スタッフ館 I 8階 放射線医学医局
村山 和宏 准教授	金曜	13:00～14:00	低侵襲画像診断・治療センター 2階 MRI
花岡 良太 講師	火、木曜	16:00～17:00	スタッフ館 I 8階 放射線医学医局
植田 高弘 講師	月曜	14:00～15:00	放射線医学医局（0562-93-9259）に電話し、医局秘書にアポイントの取次ぎを依頼すること

<医学部・総合消化器外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
升森 宏次 教授	木曜	8:30～9:30	升森教授室

<医学部・先端口ボット・内視鏡手術学>

担当者名	曜日	時間	場所
稲葉 一樹 教授	火曜～木曜	8:30～9:30	教授室 920号室

<医学部・脳神経外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
大場 茂生 准教授	水曜日	14:00~16:00	スタッフ館 I 6階 脳神経外科学医局
中江 俊介 講師	不定の為、医局秘書に連絡しアポイントをとる。	14:00~16:00	スタッフ館 I 6階 脳神経外科学医局

<医学部・脳卒中科>

担当者名	曜日	時間	場所
中原 一郎 教授	月曜	13:00~14:00	スタッフ館 I 4階 脳卒中科 医局

<医学部・産婦人科学>

担当者名	曜日	時間	場所
西澤 春紀 教授	月曜~金曜 (不定)	9:00~17:00	スタッフ館 I 9階 産婦人科学医局 (医局秘書 (内線9294) に連絡してアポイントメントを取る)
西尾 永司 教授	月曜~金曜 (不定)	9:00~17:00	スタッフ館 I 9階 産婦人科学医局 (医局秘書 (内線9294) に連絡してアポイントメントを取る)
野村 弘行 准教授	月曜~金曜 (不定)	9:00~17:00	スタッフ館 I 9階 産婦人科学医局 (医局秘書 (内線9294) に連絡してアポイントメントを取る)
宮村 浩徳 講師	月曜~金曜 (不定)	9:00~17:00	スタッフ館 I 9階 産婦人科学医局 (医局秘書 (内線9294) に連絡してアポイントメントを取る)

<医学部・連携地域医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 敬太 助教		講義終了後に対応	

<学校法人 藤田学園>

担当者名	曜日	時間	場所
大神 信孝 教授	月曜、水曜	16:30~18:00	大学1号館 5階 509

<藤田医科大学>

担当者名	曜日	時間	場所
民谷 健太 客員助教 郎	講義日	講義終了後に対応	

[授業日程]

2023年4月1日現在

<産婦人科>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/06 (火) 1限	講義	西澤 春紀	CTG (cardiotocogram : 胎児心拍陣痛図) D-10-1) 診断と検査の基本 ○ 胎児・胎盤検査法 (超音波検査、分娩監視装置による) の意義を説明できる。 D-10-3) 正常妊娠・分娩・産褥 ○ 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。	大2-1101
2	06/06 (火) 2限	講義	西尾 永司	内分泌・不妊 D-9-4)-(2) 女性生殖器疾患 ○ 不妊症の系統診断と治療を説明できる。 D-10-4) 疾患 ○ 主な異常妊娠 (流産、切迫流産、子宮外妊娠 (異所性妊娠)、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全) の病態を説明できる。	大2-1101
3	06/06 (火) 3限	講義	宮村 浩徳	分娩進行の正常と異常 D-10-3) 正常妊娠・分娩・産褥 ○ 正常分娩の経過を説明できる。	大2-1101

				D-10-4) 疾患 ○主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。	
4	06/06 (火) 4限	講義	野村 弘行	卵巣腫瘍 D-9-4)-(3) 腫瘍性疾患 ○卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。 E-3-5) 各論 ○生殖機能：前立腺癌、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌（子宮内膜癌）、卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）、絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）	大2-1101

<肝胆膵>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/06 (火) 5限	講義	川部 直人	肝疾患（肝炎・肝癌を中心に） D-7-4)-(5) 肝疾患 ○急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。 ○肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。 ○肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。 ○脂肪性肝疾患を概説できる。	大2-1101
2	06/29 (木) 1限	講義	橋本 千樹	胆膵疾患 D-7-4)-(6) 膵臓疾患 ○急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ○慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。 D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患	大2-1101

				○ 膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。	
3	06/29 (木) 2限	講義	橋本 千樹	<p>肝胆膵の病態生理</p> <p>D-7-1) 構造と機能</p> <p>○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。</p> <p>D-7-4)-(4) 胆道疾患</p> <p>○ 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。</p> <p>E-3-5) 各論</p> <p>○ 消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌</p> <p>F-2-7) 超音波を用いる診断と治療</p> <p>○ 超音波を用いる治療を概説できる。</p> <p>● 肝胆膵各臓器の臨床解剖をCT上で説明することができる。</p> <p>● 肝胆膵臓器の代謝と生化学的事項の理解と病態との関係を説明できる。</p>	大2-1101

<内科総論>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/07 (水) 1限	講義	近藤 敬太	<p>医療圏、地域医療構想</p> <p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>○ 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。</p>	大2-1101
2	06/07 (水) 2限	講義	近藤 敬太	<p>地域における救急医療、在宅医療、僻地医療</p> <p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>○ 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき</p>	大2-1101

				地医療の体制を説明できる。	
3	06/07 (水) 3限	講義	近藤 敬太	<p>地域医療、地域保健</p> <p>B-1-7) 地域医療・地域保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 ○ 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 	大2-1101
4	09/07 (木) 1限	講義	民谷 健太郎	<p>救急医学（外傷・熱傷）</p> <p>F-1-37) 外傷・熱傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外傷・熱傷の病態生理を説明できる。 ○ 外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。 ○ 外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 <p>G-2-37) 外傷・熱傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一次性：頭部外傷、骨折、外傷性気胸、脊髄損傷、熱傷 ○ 二次性：急性大動脈解離、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫 	大2-1101
5	09/07 (木) 2限	講義	民谷 健太郎	<p>救急医学（循環障害、臓器不全・ショック）</p> <p>C-4-4) 循環障害、臓器不全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ショック（血流分布異常性ショック（アナフィラキシー、感染性（敗血症性）、神経原性）、循環血液量減少性ショック（出血性、体液喪失）、心原性ショック（心筋性、機械性、不整脈）、閉塞性ショック（心タン 	大2-1101

				<p>ポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸)) を説明できる。</p> <p>F-1-5) ショック</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ショックの原因と病態生理を説明できる。 ○ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ○ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 <p>G-2-5) ショック</p> <ul style="list-style-type: none"> ○循環血液量減少性：急性消化管出血、大動脈瘤破裂、熱傷 ○心原性：急性心筋梗塞、心筋炎 ○閉塞性：緊張性気胸、肺塞栓症 ○血液分布異常性：敗血症、急性脾炎、アナフィラキシー、脊髄損傷 	
6	09/07 (木) 3限	講義	民谷 健太郎	<p>救急医学(食事・栄養療法)</p> <p>F-2-11) 食事・栄養療法と輸液療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種補液製剤(ビタミン、微量元素を含む)の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。 ○経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。 ○乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。 	大2-1101
7	09/07 (木) 4限	講義	芳野 弘	<p>老年医学①</p> <p>B-1-7) 地域医療・地域保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健(母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間 	大2-1101

				<p>(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。</p> <p>E-8-1) 老化と高齢者の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者総合機能評価(comprehensivegeriatricassessment)を実施できる。 ○ 老年症候群(歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等)の概念を説明できる。 ○ 認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。 ○ 高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。 	
8	09/07 (木) 5限	講義	芳野 弘	<p>老年医学②</p> <p>E-8-1) 老化と高齢者の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的变化を説明できる。 ○ フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。 ○ 口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。 ○ 高齢者の栄養マネジメントを説明できる。 ○ 加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。 	大2-1101

<神経>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
---------	----	----	------	------	------

1	06/07 (水) 4限	講義	大場 茂生	<p>脳腫瘍</p> <p>D-2-4)-(4) 頭部外傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 頭部外傷の分類を説明できる。 ○ 急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。 ○ 頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。 <p>D-2-4)-(10) 腫瘍性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。 	大2-1101
2	06/12 (月) 4限	講義	中江 俊介	<p>てんかん</p> <p>D-2-4)-(7) 発作性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ てんかんの分類、診断と治療を説明できる。 	大2-1101
3	06/15 (木) 1限	講義	渡辺 宏久	<p>認知症・神経変性疾患</p> <p>D-2-4)-(2) 認知症と変性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症の病因を列挙できる。 ○ 認知症をきたす主な病態（Alzheimer型認知症、Lewy小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。 ○ Parkinson病の病態、症候と診断を説明できる。 ○ 筋萎縮性側索硬化症を概説できる。 ○ 多系統萎縮症を概説できる。 	大2-1101
4	06/15 (木) 4限	講義	中原 一郎	<p>脳卒中</p> <p>D-2-4)-(1) 脳・脊髄血管障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。 <p>G-2-34) 運動麻痺・筋力低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳病変：脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、頭蓋内血腫 	大2-1101
5	06/19 (月) 3限	講義	植田 晃広	<p>炎症性神経疾患・末梢神経疾患・筋疾患</p> <p>D-2-4)-(5) 末梢神経疾患</p>	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○ Guillain-Barré症候群の症候、診断を説明できる。 ○ Bell麻痺の症候、診断を説明できる。 ○ 主な神経障害性疼痛（三叉・坐骨神経痛）を概説できる。 <p>D-2-4)-(6) 筋疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。 ○ 進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。 	
6	07/06 (木) 4限	講義	伊藤 信二	<p>神経症候学・神経感染症</p> <p>D-2-3)-(1) 運動失調障害と不随意運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。 ○ 振戦を概説できる。 <p>D-2-3)-(2) 歩行障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歩行障害を病態に基づいて分類できる。 <p>D-2-3)-(3) 言語障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 失語症と構音障害の違いを説明できる。 <p>D-2-4)-(3) 感染性・炎症性・脱髄性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。 <p>E-2-4)-(1) ウイルス感染症・プリオン病</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プリオン病を説明できる。 <p>F-1-34) 運動麻痺・筋力低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。 ○ 運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 錐体外路徴候の概要を説明できる。 ● 錐体外路徴候をきたす疾患を列挙し、診断・治療の要点を説明できる。 	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ●失語症の分類と特性を説明できる。 ●大脳皮質症候の概要を説明できる。 ●HIV、HTLV-1感染症の症候と診断を概説できる。 ●PML、SSPEを説明できる。 ●脳膿瘍を説明できる。 ●錐体路徴候の概要を説明できる。 ●筋萎縮の原因の鑑別診断ができる。 	
7	07/06 (木) 5限	講義	伊藤 信二	<p>解剖生理・検査</p> <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン）とその作用を説明できる。 <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 ○脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 ○脳幹の機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(4) 大脳と高次機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野）を説明できる。 <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 ○小脳の構造と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導 	大2-1101

				<p>路を説明できる。</p> <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-2-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。 ○ 神経系の電気生理学的検査(脳波検査、筋電図、末梢神経伝導検査)で得られる情報を説明できる。 	
--	--	--	--	---	--

<消化管>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/07 (水) 5限	講義	長坂 光夫	<p>下部消化管の良性疾患</p> <p>C-4-6) 腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 <p>D-7-4)-(3) 小腸・大腸疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn病)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ○ 腸管憩室症(大腸憩室炎と大腸憩室出血)を概説できる。 ○ 消化管ポリポージスを概説できる。 	大2-1101
2	06/29 (木) 5限	講義	升森 宏次	<p>下部消化管の悪性疾患</p> <p>D-7-4)-(3) 小腸・大腸疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。 <p>D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 	大2-1101

				○大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。	
3	06/30 (金) 2限	講義	柴田 知行	<p>上部消化管の良性疾患 D-7-4)-(1) 食道疾患</p> <p>○食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。</p> <p>○胃食道逆流症(gastroesophagealrefluxdisease)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。</p> <p>D-7-4)-(2) 胃・十二指腸疾患</p> <p>○Helicobacterpylori感染症の診断と治療を説明できる。</p> <p>G-2-22) 吐血・下血</p> <p>○上部消化管：食道静脈瘤、消化性潰瘍</p>	大2-1101
4	07/05 (水) 5限	講義	稲葉 一樹	<p>上部消化管の悪性疾患 D-7-4)-(2) 胃・十二指腸疾患</p> <p>○胃切除後症候群の病態生理を説明できる。</p> <p>D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患</p> <p>○食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。</p> <p>○食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>○胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。</p>	大2-1101

<血液>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/12 (月) 1限	講義	富田 章裕	<p>貧血・骨髄異形成症候群・多発性骨髄腫瘍</p> <p>D-1-3) 症候</p> <p>○貧血</p> <p>D-1-4)-(4) 腫瘍性疾患</p> <p>○骨髄異形成症候群(myelodysplasticsyndromes)の臨床像と病理所見を説明できる。</p> <p>E-3-5) 各論</p> <p>○血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨</p>	大2-1101

				髓性白血病、骨髄異形成症候群、成人T細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫	
2	06/12 (月) 3限	講義	入山 智沙子	白血病・検査・輸血・感染症 D-1-4)-(4) 腫瘍性疾患 ○急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。 ○慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。 ○真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。	大2-1101
3	06/19 (月) 4限	講義	岡本 昌隆	悪性リンパ腫・凝固疾患 D-1-4)-(2) 出血傾向・紫斑病 その他 ○播種性血管内凝固(disseminatedintravascularcoagulation)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。 D-1-4)-(4) 腫瘍性疾患 ○悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。	大2-1101

<腎臓>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/13 (火) 1限	講義	稲熊 大城	腎不全・透析療法 D-8-4)-(1) 腎不全 ○急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ○慢性腎不全（慢性腎臓病(chronickidneydisease)）の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ○慢性腎臓病重症度分類を説明できる。	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。 ○透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。 ○腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。 	
2	06/13 (火) 3限	講義	長谷川 みどり	<p>腎炎・ネフローゼ症候群 D-8-4)-(2) 原発性糸球体疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。 ○慢性糸球体腎炎症候群（IgA腎症を含む）の症候、診断と治療を説明できる。 ○ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。 ○急速進行性糸球体腎炎を概説できる。 ○臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。 	大2-1101

<循環器>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/16 (金) 4限	講義	村松 崇	<p>虚血性心疾患・弁膜症 C-4-4) 循環障害、臓器不全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○血行障害（阻血、虚血、充血、うっ血、出血）の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 ○主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 ●心血管系の基本構造を説明できる。 	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ● 心臓の機能と心血管系の機能調節機構を説明できる。 ● 一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療について説明できる。 	
2	06/16 (金) 5限	講義	石川 正人	<p>心不全・心筋症 D-5-4)-(1) 心不全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。 ○ 左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。 ○ 急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。 <p>D-5-4)-(5) 心筋・心膜疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。 ○ 急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。 	大2-1101

<膠原病>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/19 (月) 1限	講義	赤松 このみ	<p>総論</p> <p>C-3-2)-(1) 免疫系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。 ○ 免疫学的自己の確立と破綻を説明できる。 ○ 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。 <p>C-3-2)-(3) 免疫反応の調節機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。 ○ ヘルパーT細胞(Th1cell、Th2cell、Th17cell)、細 	大2-1101

				<p>胞傷害性T細胞(cytotoxic Tlymphocyte)、制御性T細胞(regulatoryTcell)それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。</p> <p>C-3-2)-(4) 疾患と免疫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。 ○原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群を概説できる。 	
2	06/19 (月) 2限	講義	橋本 貴子	<p>RA、SLE、その他、国家試験問題より</p> <p>E-4-3)-(2) 関節リウマチと類縁疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。 ○関節リウマチの関節外症状を説明できる。 ○成人Still病の症候、診断と治療を説明できる。 <p>E-4-3)-(3) 全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全身性エリテマトーデスの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ○全身性エリテマトーデスの合併症（神経精神全身性エリテマトーデス、ループス腎炎）を説明できる。 	大2-1101
3	06/19 (月) 5限	講義	西野 譲	<p>RA、SLE、その他、国家試験問題より</p> <p>E-4-3)-(4) 全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合織病、Sjögren 症候群</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変（特に肺・腎）を説明できる。 ○皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎、悪性腫瘍）を説明できる。 	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 混合性結合組織病を概説できる。 ○ Sjögren症候群を概説できる。 <p>E-4-3)-(5) 全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Behçet病の症候、診断と治療を説明できる。 	
--	--	--	--	---	--

<小児>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	06/20 (火) 1限	講義	近藤 康人	<p>成長・発達</p> <p>E-7-3) 小児期全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児の栄養上の問題点を列挙できる。 ○ 成長に関わる主な異常（小児心身症を含む）を列挙できる。 ○ 神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動障害、限局性学習障害、チック障害群）を列挙できる。 <p>G-4-1)-(3) 小児科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。 	大2-1101
2	06/20 (火) 2限	講義	近藤 康人	<p>発熱</p> <p>F-1-1) 発熱</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発熱の原因と病態生理を説明できる。 ○ 発熱をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ○ 発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 	大2-1101
3	06/20 (火) 3限	講義	宮田 昌史	<p>新生児</p> <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新生児の生理的特徴を説明できる。 ○ 新生児仮死の病態を説明できる。 ○ 新生児マススクリーニングを説明できる。 	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。 ○ 新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。 	
4	06/20 (火) 4限	講義	齋藤 和由	<p>先天性心疾患 D-5-4)-(6) 先天性心疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な先天性疾患を列挙できる。 	大2-1101
5	06/20 (火) 5限	講義	伊藤 哲哉	<p>代謝異常症など D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。 <p>D-12-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギー摂取の過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。 	大2-1101

<呼吸器>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	07/05 (水) 1限	講義	橋本 直純	<p>びまん性肺疾患・ARDS・肺炎 D-6-4)-(2) 呼吸器感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。 <p>D-6-4)-(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。 <p>D-6-4)-(4) 肺循環障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 急性呼吸促(窮)迫症候群 (acuterespiratorydistresssyndrome)の病因、症候と治療を説明できる。 	大2-1101

2	07/05 (水) 2限	講義	橋本 直純	<p>気管支喘息・COPD・呼吸不全 D-6-4)-(3) 閉塞性換気障害・ 拘束性換気障害をきたす肺疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○慢性閉塞性肺疾患(chroni cobstructivepulmonaryd isease)の病因を列挙できる。 ○気管支喘息(小児喘息を 含む)の病態生理、診断 と治療を説明できる。 <p>G-2-15) 呼吸困難</p> <ul style="list-style-type: none"> ○呼吸器：肺塞栓症、急性 呼吸促(窮)迫症候群、気 管支喘息、慢性閉塞性肺 疾患、緊張性気胸 	大2-1101
3	07/05 (水) 3限	講義	今泉 和良	<p>肺癌・縦隔胸膜疾患 D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○縦隔と胸膜腔の構造を説 明できる。 <p>D-6-4)-(9) 腫瘍性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肺癌の組織型、病期分 類、病理所見、診断、治 療を説明できる。 <p>E-3-5) 各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ○呼吸器系：肺癌、転移性 肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜 中皮腫 <p>G-2-13) 咳・痰</p> <ul style="list-style-type: none"> ○腫瘍：肺癌 	大2-1101
4	07/05 (水) 4限	講義	今泉 和良	<p>アレルギー性肺疾患・肺胞蛋白 症・人工呼吸など D-6-4)-(7) 気管支拡張症とそ の他の肺疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肺胞タンパク症を概説で きる。 <p>E-2-1) 病態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療器具関連感染症(血 管留置カテーテル、尿道 カテーテル、人工呼吸 器)、術後感染症、手術 部位感染症、を説明でき る。 <p>E-4-3)-(6) アレルギー性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要な全身性アレルギー 性疾患の分類と特徴を概 説できる。 ○アナフィラキシーの症 候、診断と治療を説明で 	大2-1101

				きる。 ○食物アレルギーの種類、 診断と治療を概説でき る。	
--	--	--	--	---	--

<内分泌代謝>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	07/06 (木) 1限	講義	高柳 武志	甲状腺・副甲状腺 D-12-1) 構造と機能 ○糖質・タンパク質・脂質 の代謝経路と相互作用を 説明できる。 D-12-3)-(2) 甲状腺腫 ○甲状腺腫を分類し、疾患 を列挙できる。 D-12-4)-(2) 甲状腺疾患 ○Basedow病の病態、症 候、診断と治療を説明で きる。 ○甲状腺機能低下症の症 候、診断と治療を説明で きる。 D-12-4)-(5) 糖代謝異常 ○糖尿病の病因、病態生 理、分類、症候と診断を 説明できる。 ○糖尿病の急性合併症を説 明できる。 ○糖尿病の慢性合併症を列 挙し、概説できる。 ○糖尿病の治療（食事療 法、運動療法、薬物治 療）を概説できる。	大2-1101
2	07/06 (木) 2限	講義	鈴木 敦詞	下垂体・副腎 D-12-1) 構造と機能 ○副腎の構造と分泌される ホルモンの作用と分泌調 節機構を説明できる。 D-12-4)-(1) 視床下部・下垂 体疾患 ○Cushing病の病態と診断 を説明できる。 ○汎下垂体機能低下症を概 説できる。 D-12-4)-(3) 副甲状腺疾患と カルシウム代謝異常	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。 <p>D-12-4)-(4) 副腎皮質・髄質疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 副腎不全（急性・慢性（Addison病））の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 	
--	--	--	--	---	--

<公衆衛生>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	07/12 (水) 1限	講義	太田 充彦	<p>社会保障総論・医療・保険・福祉制度総論</p> <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。 ○ 医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。 ○ 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。 	大2-1101
2	07/12 (水) 2限	講義	太田 充彦	<p>母子保健、学校保健、精神保健、国際保健</p> <p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 <p>B-1-6) 社会・環境と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。 <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説 	大2-1101

				<p>明できる。</p> <p>D-10-3) 正常妊娠・分娩・産褥</p> <p>○母子保健の意義を医学的に説明できる。</p>	
3	07/12 (水) 3限	講義	松永 眞章	<p>医療保険、高齢者保険、福祉</p> <p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>○地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。</p> <p>B-1-6) 社会・環境と健康</p> <p>○各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。</p> <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>○医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。</p>	大2-1101
4	07/12 (水) 4限	講義	太田 充彦	<p>産業保健、国際保健</p> <p>B-1-6) 社会・環境と健康</p> <p>○各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。</p> <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>○産業保健（労働基準法等の労働関係法規を含む）を概説できる。</p> <p>B-1-9) 国際保健</p> <p>○国際保健・医療協力（国際連合(United Nations)、世界保健機関(World Health Organization)、国際労働機関(International Labour Organization)、国連合同エイズ計画(The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS)、世界</p>	大2-1101

				<p>エイズ・結核・マラリア対策基金(TheGlobalFund toFightAIDS,TuberculosisandMalaria)、GAVIアライアンス(TheGlobalAllianceforVaccinesandImmunization)、国際協力機構(JapanInternationalCooperationAgency)、政府開発援助(OfficialDevelopmentAssistance)、非政府組織(Non-GovernmentalOrganization))を列挙し、概説できる。</p> <p>B-4-1) 医師に求められる社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。 	
5	07/13 (木) 1限	講義	山田 宏哉	<p>国民栄養と食品保健・関係法規(医事・薬事)、環境保健</p> <p>B-1-6) 社会・環境と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。 <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。 	大2-1101
6	07/13 (木) 2限	講義	川戸 美由紀	<p>予防医学と健康保持推進、人口統計と保健統計、疫学とその応用</p> <p>B-1-4) 疫学と予防医学</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(国際疾病分類等)を説明できる。 ○ 疫学とその応用(疫学の概念、疫学指標とその比較)を説明できる。 ○ 予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方 	大2-1101

				法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。	
7	07/13 (木) 3限	講義	大神 信孝	<p>感染症対策、成人保健</p> <p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における成人・高齢者保健を説明できる。 <p>E-2-1) 病態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新興・再興感染症(中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome)、ジカ熱、劇症型A群レンサ球菌感染症等)、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。 <p>E-2-4)-(2) 細菌感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肺炎球菌感染症の予防法を説明できる。 ○ 結核症の予防法を説明できる。 	大2-1101

<感染症>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	07/14 (金) 1限	講義	土井 洋平	<p>抗酸菌感染症(抗菌薬)</p> <p>F-2-8) 薬物治療の基本原則</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 ○ 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 	大2-1101
2	07/14 (金) 2限	講義	土井 洋平	<p>骨・軟部組織・尿路感染症</p> <p>D-4-4)-(2) 感染性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。 ○ 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。 <p>G-2-1) 発熱</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症:肺炎、結核、尿路感染症 <p>G-2-29) 血尿・タンパク尿</p>	大2-1101

				○尿管、膀胱：尿路結石、 尿路感染症、膀胱癌	
3	07/14 (金) 3限	講義	土井 洋平	<p>その他感染症・抗酸菌感染症 (神経・血液感染症は除く) D-6-4)-(2) 呼吸器感染症</p> <p>○気管支炎・細気管支炎・ 肺炎(定型肺炎、非定型 肺炎)の主な病原体を列 挙し、症候、診断と治療 を説明できる。</p> <p>E-2-1) 病態</p> <p>○市中感染症と院内(病 院)感染症を説明でき る。</p> <p>E-2-4)-(2) 細菌感染症</p> <p>○インフルエンザ(桿)菌感 染症とMoraxellacatarrha lis感染症を説明できる。</p> <p>E-2-4)-(5) 院内感染</p> <p>○標準予防策(standardpre cautions)、感染経路別予 防策(飛沫感染予防策、 接触感染予防策や空気感 染予防策等)が必要とな る病原微生物を説明でき る。</p> <p>○医療従事者の体液曝露後 の感染予防策を概説でき る。</p>	大2-1101

<病理診断>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/11 (月) 2限	講義	浅井 直也	<p>婦人科疾患</p> <p>D-9-4)-(3) 腫瘍性疾患</p> <p>○子宮頸癌・子宮体癌(子 宮内膜癌)の予防、症 候、病理所見、診断、治 療を説明できる。</p> <p>○卵巣腫瘍(卵巣癌、卵巣 嚢腫)の症候、病理所 見、診断、治療を説明で きる。</p> <p>○絨毛性疾患(胞状奇胎、 絨毛癌)の症候、診断、 治療を説明できる。</p> <p>D-11-4)-(2) 腫瘍性疾患</p>	大2-1101

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。 	
2	09/11 (月) 3限	講義	浅井 直也	<p>腎疾患</p> <p>D-8-4)-(2) 原発性糸球体疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 慢性糸球体腎炎症候群 (IgA腎症を含む) の症候、診断と治療を説明できる。 ○ ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。 <p>D-8-4)-(6) 全身性疾患による腎障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。 ○ ループス腎炎の症候、診断と治療を説明できる。 ○ アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。 ○ 膠原病類縁疾患 (血管炎症候群、抗糸球体基底膜 (glomerularbasementmembrane)病 (Goodpasture症候群)) の腎病変を説明できる。 	大2-1101
3	09/11 (月) 4限	講義	浅井 直也	<p>消化管・肝胆膵疾患</p> <p>D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 ○ 胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 ○ 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 ○ 胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 ○ 原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 ○ 膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 	大2-1101

4	09/11 (月) 5限	講義	浅井 直也	<p>その他（呼吸器・感染症など）</p> <p>D-6-4)-(2) 呼吸器感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。 ○肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と届出手続を説明できる。 <p>D-6-4)-(5) 免疫学的機序による肺疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。 <p>D-6-4)-(9) 腫瘍性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。 ○転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。 ○縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。 ○胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。 	大2-1101
---	--------------------	----	-------	---	---------

<画像診断>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/12 (火) 2限	講義	花岡 良太	<p>腹部の画像診断</p> <p>D-7-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。 <p>G-3-2) 検査手技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心臓、腹部の超音波検査を実施できる。 	大2-1101
2	09/12 (火) 3限	講義	大野 良治	<p>胸部の画像診断</p> <p>D-6-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positronemission tomography)検査を含む）等 	大2-1101

				<p>の画像検査の意義を説明できる。</p> <p>G-3-2) 検査手技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。 	
3	09/12 (火) 4限	講義	村山 和宏	<p>中枢神経系（脳血管障害と脳腫瘍）</p> <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 <p>D-2-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computedtomography)・磁気共鳴画像法(magneticresonanceimaging)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。 <p>D-2-4)-(1) 脳・脊髄血管障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。 <p>E-3-2) 診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ○腫瘍の画像所見や診断を説明できる。 	大2-1101
4	09/12 (火) 5限	講義	植田 高弘	<p>婦人科系の画像診断他</p> <p>D-9-2)-(2) 女性生殖器</p> <ul style="list-style-type: none"> ○骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、子宮卵管造影(hysterosalpingography)所見を概説できる。 	大2-1101